

ディスクのスリム化 大作戦

ハードディスクのメタボを解消!

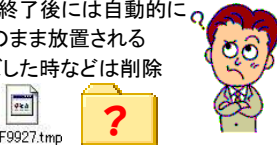
長くPCを使っていると、いろいろなソフトをインストールしたり、様々なファイルをコピーしたりします。しかし、これらのうち実際に使っているものは実は一部分で、不要なものが残っている場合もあります。不要ファイルの削除は難しい、面倒と思いがちですが、ツールを使いこなせばそれほど大変ではありません。ハードディスクがいっぱいになっている方は、スリム化を実行してみませんか?

消してもいいファイルはどれ?

不要ファイルの削除といってもどのファイルが不要なのか?判断がつきませんよね。そこでWindowsで、一般的に削除しても問題ないとされているファイルをご紹介します。

■テンポラリフォルダ(一時フォルダ)内のファイル

テンポラリフォルダには、アプリケーションやシステムで利用するさまざまな一時ファイルが作成されます。作業終了後には自動的に削除されるはずなのですが、中にはそのまま放置されるものもあります。またパソコンがフリーズした時などは削除されずに残ったりする事もあります。



■インターネット一時ファイル

通常ブラウザは、一度閲覧したサイトの情報をハードディスクの中に保存しておきます。キャッシュといい、インターネットに接続しないでそのページを見たり、次にそのページを見るときにすばやく表示させるためです。最近では常時接続と回線速度の向上により、キャッシュを利用する機会も減りましたので、あまり必要の無いファイルです。



■その他

拡張子が、「.tmp」「.bak」「.old」のファイルは、プログラムが一時的に作ったファイルであることが多いようです。ただし、全てがそうであるとは言えないので、削除するときはよく確認してください。

※一部のファイルはシステムで保護されているため、通常は表示されません。フォルダオプションの表示で、「保護されたオペレーティングシステムファイルを表示しない(推奨)」のチェックを外す必要があります。

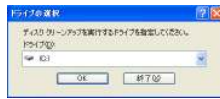
手動と自動、あなたはどちら?

上で紹介したファイルは保存フォルダを見つけて手動で削除してもよいのですが、間違ったファイルを削除してしまうとシステムの動作に影響する可能性もあり、あまりおすすめできません。このようなファイルを安全に削除するときは、Windowsに標準で付属している「ディスククリーンアップ」を使うのが簡単です。「アクセサリ」→「システムツール」→「ディスククリーンアップ」を選択します。クリーンアップするドライブを選択するとスキャンが始まり、削除可能なファイルを検出してくれます。

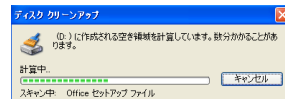
右ではこのディスククリーンアップについてご説明致します。



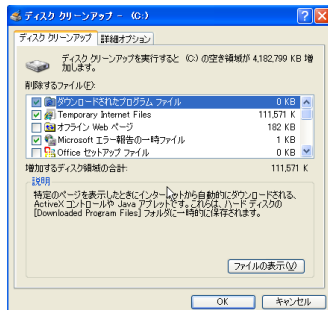
ディスククリーンアップを使ってみよう



▲ドライブを選択



▲削除可能なファイルを検出

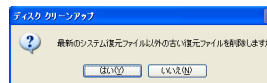


▲削除するファイルを選んで実行!

ファイル名は青文字で表示されます。圧縮されていることで、ファイルを開くのが若干遅くなります。また圧縮自体にもかなり時間がかかる場合があります。古いファイルの圧縮は十分注意して実行してください。

復元ポイントは大きなゴミ?

Windowsには「システムの復元」があります。「復元ポイント」は自動的に作成されますが、作成すればするほど、ハードディスクの容量を消費します。現在、特に不具合が無い場合は、最新の「復元ポイント」以外を削除する事で、ハードディスクをスリムにする事が出来ます。ディスククリーンアップの「詳細オプション」タブの「システムの復元」のクリーンアップボタンで削除できます。但し、一度削除した復元ポイントは、復活できませんので、ご注意ください!



忘れないで!メールデータの「最適化」

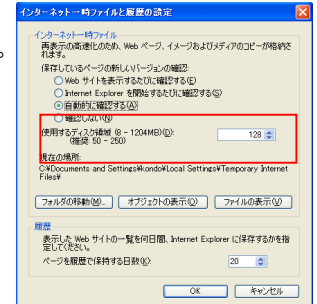
ディスククリーンアップではないのですが、「最適化」もディスクのスリム化に大きく貢献します。特にOutlook Expressをお使いの方は「ファイル」→「フォルダ」→「最適化」または「すべてのフォルダを最適化する」を実行してみてください。数百MB、場合によっては1GB以上のハードディスクの容量が復活します。

「ごみ」を溜めない工夫

ディスククリーンアップで、普段必要ないファイルの掃除が完了しても知らず知らずの間に、『ごみ』は溜まって行きます。ごみを溜めない工夫も必要です。

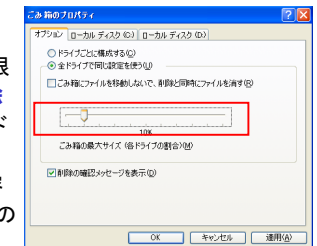
■Temporary Internet Filesを溜めない方法

インターネット一時ファイルは、保存容量の上限を決める事が出来ます。あらかじめ上限を小さくしておけば、不要ファイルの肥大を防ぐ事ができます。インターネットオプション全般タブ「閲覧の履歴」項目にある「設定」ボタンをクリックして「使用するディスク領域」の値を小さくしておきましょう。(IE7)



■でっかいごみ箱、ちっちゃいごみ箱、あなたはどっち?

パソコンによって「ごみ箱」の容量が違う事をご存知ですか?「ごみ箱」は不要ファイルの保管場所であり、上限容量を超えると古いファイルから削除されます。「ごみ箱」の容量は、ハードディスクの容量の何%という設定になっていますのでハードディスクの容量が違えば、「ごみ箱」の容量も違うのです。



「ごみ箱」を右クリックしてプロパティを開き、スライダーを動かせば「ごみ箱」の容量が変更できます。また、「ごみ箱にファイルを移動しないで、削除と同時にファイルを消す」をチェックすると、ファイルは「ごみ箱」に溜まらず、即削除となります。誤って削除する場合もあるかも知れませんが、このチェックはおすすめできません。

不要ファイルを溜める『スペース』を作らないようにする事で、ハードディスクのメタボ化をある程度防ぐ事が出来ます。でも定期的にディスククリーンアップを行い、デフラグを実行する事が大切です。

開発室から

ディスククリーンアップ後に、フリーソフトでハードディスクの掃除を試してみました。約200MBもの「ゴミ」が削除されました。でもその後フリーソフトの評判をネットで見ると、「システムファイルまで削除されちゃった!」と…。やっぱりWindows純正が一番安全ですね。